

## 子どもの医療費がっいに 無償化&子ども食堂を応援!

子どもの医療費助成については、自治体間でバラツキがあるのが現状です。日野市においては今年10月より、18歳までの子どもの医療費助成の「所得制限」と「一部負担金(200円)」を全てなくし、**医療費を無償化**する議案が可決されました。市長にはもう少し早く決断してほしかったのですが、これにより子育て世帯の念願が叶います。とはいえ、問題は財源です。本来であれば、自治体間で差が生じないように、国が取り組むべきことですね。給食費の無料化もしかりと考えます。

また、**子ども食堂の開設や運営**に対する補助制度も整います。現在日野市では5ヶ所で開設されていますが、これを機に各地域へ広まることを期待します。行ってみたい方、はじめたい方、寄付をされたい方、ぜひ右の二次元コードをご覧ください。



詳しくはこちらをご覧ください。

## 自転車用ヘルメット 購入助成

自転車のヘルメット着用が4月より努力義務となりました。着用を促すため、2022年12月23日以降に購入した安全認証を受けた製品を対象に**2,000円を上限に助成**します。

詳細は日野市の広報ひの8月号や市のHPをご参照ください。着用の有無は命に関わることです。ヘルメットの着用を習慣化しましょう。

## キャッシュレス決済の ポイント還元

原油価格・物価高騰により停滞する市内経済の活性化を目的に、キャッシュレス決済サービスを活用したポイント還元(20%予定)を12月頃に実施します。

これまで4度にわたるPayPayキャンペーンは好評を博し、一定の効果も認めますが、他の支援のあり方を構築しておく必要性も感じます。

## 市民会館や市民の森ふれあいホール等の使用料の値上げ

日野市民会館のホール使用料は1985年の開館以来変わらずでしたが、このたびの見直しで、**平日全日利用で2万円増**などの値上げとなります。それでも他市の類似施設と比較すると安いとのことですが、市民活動団体利用者には手痛いものです。次期指定管理者との協議における市民活動支援に繋がる工夫を求めました。

使用料の見直しは市が設定した基準に基づき検討委員会で検討されますが、日頃から利用者の声を聞くことが大切だと考えます。他にも七生公会堂、市民の森ふれあいホール、市民プール(市外料金を新たに設定)の改定がありました。現在は交流センターなどの見直しが進められています。(以上すべて賛成)

